※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和５年度　国語科

教科	ＧＥ	科目	発展古典探究Ⅰ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校古典探究」　（数研出版）						
副教材等	「九訂版　体系古典文法」（数研出版）「読んで見て覚える　重要古文単語 315」（株式会社桐原書店）「基本の古典（古文漢文）」（尚文出版）「必携新明説漢文」（尚文出版）「必携　修訂版　新明説漢文ノート」（尚文出版）「カラー　小倉百人一首　二訂版」（京都書房）「七訂版　読解を大切にする古典文法ノート」（数研出版）「最新国語便覧デジタル版」（浜島書店）「正しく読み・解くための 力をつける古典　ステップ 2.5」（数研出版）「論理的に考える LT 古文　LT２」（浜島書店）「論理的に考える LT 漢文　LT 標準」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・奥深い古典の世界観に触れ、伝統的な言語文化を味わうとともに、異文化理解・他者理解の素地を養いましょう。
・古典の基礎知識を定着させ、読解に必要な能力を養いましょう。
・教材を利用して予習・復習を行い、計画を立てて考査に臨みましょう。

２　学習の到達目標

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。 ・古典を読むための語句の意味や用法，文章の構成や展開，古典の文章の特徴や言葉の響き及び修辞について理解を深める。主語を明確にし文法事項・重要古語を押さえながら読んでいる。	・「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 ・書き手の考えや目的・意図を捉えて内容を解釈する。登場人物の心情および物語の展開について主語を明確にして読み解く。作品が成立した背景や他作品などとの関連についても触れながら読み，我が国の言語文化について自分の考えを広げ深めている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。 ・目標や意欲をもち，粘り強く学習に取り組み，進んで自己の知識や理解を広めようとする態度をはぐくむとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養っている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	・1年次に学習した用言の活用および助動詞の基本的事項について再度確認する。 ・係助詞「や(は)　か(は)」について確認する。 ・説話に込められた教訓について考察する。 ［教材］ **十訓抄** **大江山** **古文チェックポイント[1]** **係助詞の用法**	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・敬語表現について学習する。 ・歴史物語という種類の文章について理解する。 ・花山天皇と道兼の人物像をまとめる。 ［教材］ **大鏡** **花山天皇の出家** **古文チェックポイント[3]** **さまざまな敬語表現**	a：古典を読むために必要な文語のきまり、特に敬語表現について理解を深めている。 b[読]：本文の展開をおおむね整理し、花山天皇と道兼の人物像を把握できている。 c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・敬語表現について学習する。 ・道長と伊周はそれぞれどのような人物として描かれているか、まとめる。 ［教材］ **大鏡** **南院の競射** **古文チェックポイント[3]** **さまざまな敬語表現**	a：古典を読むために必要な文語のきまり、特に敬語表現について理解を深めている。 b[読]：道長・伊周・道隆の人物像をおおむねとらえたうえで、「二度」の解釈の可能性について説明できている。 c：一語の解釈の違いで発言全体の真意がどう変わるか粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出

※令和４年度以降入学生用

	問題演習①	a：古典を読むために必要な文語のきまり、特に敬語表現について理解し、読解に活かせている。	演習プリント	演習プリント	
	・漢文の書き下しの基本的事項について再度確認する。 ・訓読に重要な語句、句法を確認する。 ［教材］ **韓非子** **買履忘度**	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：故事に込められた教訓を積極的に考察しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・漢文の書き下しの基本的事項について再度確認する。 ・訓読に重要な語句、句法を確認する。 ［教材］ **世話新語** **漱石枕流**	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：故事に込められた教訓を積極的に考察しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	問題演習②	a：古典を読むために必要な文語のきまり、句法について理解し、読解に活かせている。	演習プリント	演習プリント	
前期期末	・敬語表現について学習する。 ・帝・桐壺の更衣・弘徽殿の女御の人物像について考える。 ［教材］ **源氏物語** **光源氏誕生**	a：敬語の基本的な意味・用法を理解している。 b[読]：本文の展開をおおむね整理し、登場人物の人物像を把握できている。 c：登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・随筆という文章の種類を踏まえて、作者の批判的精神が提示する内容や展開を的確に捉える。	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	指名音読		

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ **方丈記** **ゆく河の流れ**	b[読]：本文の構造を理解したうえで、「無常」に対する作者の考えを把握できている。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	問題演習③	a：古典を読むために必要な文語のきまり、語句について理解し、読解に活かせている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・諸子百家が現れた春秋・戦国時代について学習する。 ・それぞれの思想の違いについて考察する。 ・訓読に重要な語句、句法を確認する。	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：諸子百家の文章から現代に通じる考え方を粘り強く見いだし、主体的に文章に表そうとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	［教材］ **孟子** **性善** **老子** **無為之治** **荘子** **木鶏** **韓非子** **侵官之害** **漢文チェックポイント[3]** **前置詞**				
	問題演習④	a：古典を読むために必要な文語のきまり、句法について理解し、読解に活かせている。	演習プリント	演習プリント	
後期中間	・日記文学の表現方法と随筆意図を読み解く。 ・作品に表れている批評や諧謔の面白さを味わう。	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：本文の展開をおおむね整理し、作者の心情について把握できている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	［教材］ **更級日記** **東路の道の果て**				
	・敬語表現について学習する。 ・歴史物語という種類の文章について理解する。 ・道長と伊周はそれぞれどのような人物として描かれているか、まとめる。	a：古典を読むために必要な文語のきまり、特に敬語表現について理解を深めている。 b[読]：本文の展開をおおむね整理し、道隆・道兼・道長の人物像を把握できている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ **大鏡** **道長剛胆** **古文チェックポイント[3]** **さまざまな敬語表現**	c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。			授業内活動 課題提出
	問題演習⑤	a：古典を読むために必要な文語のきまり、句法について理解し、読解に活かせている。	演習プリント	演習プリント	
	・訓読に重要な語句、句法を確認する。 ・『史記』の成立や内容についての概要を理解する。作品の歴史的背景について知識を得る。 ［教材］ **鴻門之会（史記）** **剣舞** **四面楚歌（史記）** **漢文チェックポイント[2]** **兼語文**	a：『史記』の成立や内容についての概要を理解している。作品の歴史的背景について知識を得ている。 b[読]：本文の読解を踏まえて、劉邦が鴻門から脱出することができた理由をおおむね適確に分析できている。 c：本文から読みとった項羽や劉邦の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	問題演習⑥	a：古典を読むために必要な文語のきまり、句法について理解し、読解に活かせている。	演習プリント	演習プリント	
後期期末	・敬語表現について学習する。 ・物語中の歌について、誰がどこで詠んだ歌であるかを確認し、主題を考える。 ［教材］ **伊勢物語** **渚の院** **古文チェックポイント[2]** **まぎらわしい語の識別**	a：古典を読むために必要な文語のきまり、特に敬語表現について理解を深めている。 b[読]：登場人物の交流について、本文の内容をおおむね理解したうえで、自分の考えを述べられている。 c：登場人物の交流関係について自ら進んで評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・敬語表現について学習する。 ・作中に登場する歌の解釈について考える。 ［教材］ **源氏物語** **小柴垣のもと**	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：光源氏が女子にひかれる理由を理解し、尼君と女房の歌に込められた心情を説明できている。 c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動

※令和４年度以降入学生用

					課題提出
	・敬語表現について学習する。 ・作中に登場する歌の解釈について考える。	a：古典を読むために必要な語や句法について理解を深めている。 b[読]：典故となる『荘子』の二つの話を踏まえて、本文末尾の一文が述べようとしている内容をおおむね適確に指摘できている。 c：「売油翁」の末尾一文の意味について、グループでの話し合いにおいて積極的に意見を発表している。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	［教材］ **欧陽脩** **油売翁** **漢文チェックポイント[2]** **後置修飾語**				
	問題演習⑦	a：古典を読むために必要な文語のきまり、句法について理解し、読解に活かせている。	演習プリント	演習プリント	

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７５　）時間